

平成 21 年 5 月 8 日現在

研究種目：基盤研究（A）  
研究期間：2006～2009  
課題番号：18202016  
研究課題名（和文） 17 - 20 世紀の東アジアにおける「外国人」の法的地位に関する総合的研究  
研究課題名（英文） Comprehensive Studies of the Legal Status of "the Foreigners" in 17-20 Century East Asia  
研究代表者  
貴志 俊彦（KISHI TOSHIHIKO）  
神奈川大学・経営学部・教授  
研究者番号：10259567

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・史学一般

キーワード：国籍、出入国管理、国際私法、華僑・華人、移民、国際結婚、アイデンティティ

## 1. 研究計画の概要

本国際共同研究は、19 世紀後半の開港後に加速化するグローバルな人口移動、その結果起こった内地雑居状態において、アジア域内および欧米世界から到来する「外国人（異邦人）」たちの生活模様およびその法的環境を明らかにし、具体的な紛争処理の事例を比較検討することを目的とする。とくに、時代の推移および地域間の相違によって、「外国人」の法的地位にどのような差異が生じていたのかを検討しつつ、個別の事例研究を総合化し、理論化することを課題としている。

また、この共同研究では、東アジアの「外国人」問題を、彼らの出国地域の状況に目を向けるだけでなく、彼らを受け入れる地域や社会との関係を重視する。そうした視角から、領事裁判権、国際結婚、混血児、商事紛争、外事警察などの問題をめぐる紛争処理の事例分析を積み重ねて、「外国人」が抱える問題性や特徴を、法社会的なアプローチも適用しつつ、明らかにする。

実際の研究活動としては、本テーマに即して、可能なかぎり海外で合同討論会を開催し、海外の研究者との直接的な対話を重視したいと考えている。さらに、こうした議論の内容が、討論会の場で終始しないように、議論された諸問題を学術雑誌の特集号や書籍として刊行することを重視する。同時に、国内外の調査で収集した史資料を、国際的に活用するために、資料共有化のためのモデル的なデータベースの構築にも努める。こうした試みは、まだ過渡的な状況にあるとはいいながら、アジア諸国の歴史学者に対しても一定の貢献をなしえようと考えている。

## 2. 研究の進捗状況

- (1) 国際学術討論会の実施：2006 年度は早稲田大学、シンガポール国立大学、2007 年度は香港・浸会大学、韓国・安東大学、ウィーン大学、2008 年度はオランダ・ライデン大学、ロシア・極東大学、アテネオ・デ・マニラ大学、上海社会科学院、東京外国語大学 AA 研、愛媛大学で討論会を主催した。
- (2) 国内外資料調査の実施：海外は、2006 年度にシンガポール国立図書館、香港電影資料館、2007 年度に香港浸会大学図書館、アモイ華僑博物館、ベルリン国立図書館、2008 年度にライデン大学図書館、極東大学図書館などで所蔵史料の調査を実施した。国内は、函館、東京、大阪、神戸、長崎、佐賀など。
- (3) フィールドワークの実施：マニラ、ウラジオストク、中国アモイ市、上海市、青島市、寧夏回族自治区、韓国仁川市、沖縄本島にて、住居の悉皆調査、ヒアリング調査を実施。
- (4) 研究成果の公表：下記 5 の「代表的な研究成果」参照。
- (5) 資料のデジタル化：下記〔その他〕参照。

## 3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

- (1) 成果：上記 2 の「研究の進捗状況」にあげたように、毎年数回、国内外で国際学術討論会を開催し、17 世紀から 20 世紀にいたる東アジアの「外国人」をめぐる法的環境の比較研究を進めてきた。また、討論会の成果を、書籍や雑誌特集号で公表するほか、ウェブ上に構築したデータベースでも公開してきた。
- (2) 課題：予定していた米国、オーストラリアで討論会の開催、資料調査に着手できていない。

#### 4. 今後の研究の推進方策

- (1) 研究成果の理論化：東アジアの「外国人」の法的地位をめぐる総合的な体系化に取り組むこと。
- (2) 研究成果の公表：3年間の成果をまとめて公表するために、本年度の科研費・研究成果公開促進費（出版助成）に応募すること。
- (3) 収集したマイクロ資料のデジタル化：これまで収集したマイクロ資料の情報を共有化するために、デジタル化すること。

#### 5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕(計22件)

1. 弘末雅士, "The Changing Intermediary Role of Indonesian Concubines between the Local and European Communities at the Turn of the Twentieth Century," ISHII Yoneo ed., *The Changing Self Image of Southeast Asian Society during the 19th and 20th Centuries*, The Toyo Bunko, 査読無, 2009, pp. 114 - 139.
2. 本野英一「光緒新政期中国の商標保護制度の挫折と日英対立」『社会経済史学』査読有、74巻3号、2008年、3 - 22頁。
3. 陳来幸「阪神地区における技術者層華僑ネットワーク考」『南腔北調論集』有松堂出版、査読無、2007年、53 - 67頁。
4. 川島真「日本占領期華北における留日学生をめぐる動向」『中国研究月報』査読有、61巻8号、2007年、4 - 18頁。
5. 貴志俊彦「第一次大戦後の在華外国人管理問題」『アジア研究』査読有、Vol. 52、No. 3、2006年、35 - 50頁。

〔学会発表〕(計39件)

1. 菅谷成子, "Spain's Chinese Policy in the Early Modern Philippines", A Workshop on Chinese Immigration to the Philippines, Japanese and Korean Philosophies, and Source Materials for Asian Studies in Japan and the Philippines, 2009年3月11日, アテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)
2. 荒野泰典, "Judicial Trials for Foreigners in Late Pre-Modern Japan: The Historical Precedent for Granting Jurisdiction of Foreign Consuls", ワークショップ: The Netherlands and Japan Workshop on Academic Exchange about Asian Identities, 2008年8月28日, ライデン大学(オランダ)
3. 弘末雅士, "The Changing Intermediary Role of Indonesian Concubines between the Local and European Communities at the Turn of the 20<sup>th</sup> Century,"

Japan-Austrian Workshop on Cultural Exchange, 2007年9月3日, ウィーン大学東アジア研究所

4. 陳来幸, "Overseas Chinese Business Network in East Asia: beyond the Institution and Rivalry," International Conference on "Foreign" Communities, Immigrants, and Influence in Modern Asia, 2007年5月26日, 浸会大学(香港)
5. 川島真, "De-imperialization in Japan: 1945-1952," The Inaugural Conference of the Japanese Studies Association in South East Asia, 2006年10月13日, シンガポール国立大学

〔図書〕(計7件)

1. 貴志俊彦・土屋由香編『文化冷戦の時代 - アメリカとアジア - 』国際書院、2009年、11-29、257-272頁
2. 貴志俊彦・孫安石編『アジア遊学』111号(戦争とメディアそして生活) 勉誠出版社、2008年、総224頁
3. 川島真・貴志俊彦編『資料で読む世界の8月15日』山川出版社、2008年、総230頁
4. 川島真・服部龍二編『東アジア国際政治史』名古屋大学出版会、2007年、3 - 24、82 - 113、208 - 209、293 - 322、323 - 334頁
5. 大里浩秋・孫安石編『中国における日本租界 重慶・漢口・杭州・上海』御茶の水書房、2006年、63-95頁

〔産業財産権〕

- 出願状況(計0件)  
取得状況(計0件)

〔その他〕

- (1) デジタル・データベースの構築と公開。  
「人口統計データベース管理システム」  
2009年3月テスト版公開  
(<http://area.net.cias.kyoto-u.ac.jp/dashboard/>)  
「中国における『外国人』人口統計データベース - 戦前編 - 」2008年3月公開  
(<http://area.net.cias.kyoto-u.ac.jp/statistics/>)  
「ポータルサイト: 戦争とメディア Inter-Institute Archive of 20th Century Media Collections 」2007年3月テスト版  
(<http://media-portal.iii.u-tokyo.ac.jp/outline.html>)  
「満洲国とメディア - Manchukuo Propaganda Posters & Bills」2007年3月公開  
(<http://kishi01.kanagawa-u.ac.jp/poster/>)